

I 日本語・日本事情教育：
日本語教育プログラム（静岡キャンパス）

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-05-01 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 原沢, 伊都夫, 袴田, 麻里 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.14945/00010072

日本語教育プログラム（静岡キャンパス）

原沢伊都夫／袴田 麻里

1. コースの概要

日本語教育プログラムは静岡大学で勉強する全ての留学生のための15週間の日本語コースである。学習内容には、日常コミュニケーションのほか、研究活動に必要な口頭発表やレポート執筆の技能なども含まれている。日本語を初めて勉強する人の入門科目（日本語1）、初級科目（日本語2）、中級前半科目（日本語3）、中級後半科目（日本語4）、および上級科目（日本語5）の5つのレベルがあり、プレイスメント・テストの結果によってレベルを決定する。所定の基準を満たせば単位が認定されるが、このプログラムで履修した単位は卒業単位には含まれない。

留学生の定員に空きがある場合には、静岡大学の研究者・留学生の配偶者などで、プレイスメント・テストの結果から、当プログラムの留学生と日本語力が同等であると判断され、センター長が適当と認めたものは、所定の授業料を納付してこのプログラムを受講することができる。ただし、成績評価及び単位の認定はできない。

2. 静岡キャンパス

原沢伊都夫

平成27年度後期

開講期間は平成27年10月8日(木)から平成28年2月10日(水)までである。入門、初級、中級前半、中級後半、上級の5レベルを設置した。

【日本語1－A（日本語入門）】

授業時間数：週3コマ

学習内容：初級文型の学習と総合的なコミュニケーション練習。

使用テキスト：『にほんご45じかん』、国際交流センター開発教材『平仮名』・『片仮名』

受講者数：27名

【日本語2－A（日本語初歩）】

授業時間数：週3コマ

学習内容：文章を読み、文法練習をする。会話、聴解、作文の練習をする。

使用テキスト：『英語版日本語中級J301』（スリーエーネットワーク）『大学・大学院留学生の日本語①』（アルク）

受講者数：12名

【日本語3－A（読解・文法）】

授業時間数：週1コマ

学習内容：さまざまな文章を読む。文法・語彙練習をする。漢字・文法クイズを行う。

使用テキスト：『豊富な例文で学ぶ 新中級日本語』（ふくろう出版）

受講者数：24名

【日本語3－B（聴解・語彙）】

授業時間数：週1コマ

学習内容：日常生活での会話の例から、話し言葉に特徴的な音変化や形態の特徴を学ぶ。

また、VTRの独話・会話を聞き、文脈の中での使われ方を通して語彙を学ぶ。

使用テキスト：授業時にプリントを配布する。

受講者数：19名

【日本語3－C（作文・話し方）】

授業時間数：週1コマ

学習内容：作文に必要な表現を学ぶ。その表現を使って、自分に関係する日常生活の事柄を書く。次に、作文で書いた内容を口頭で表現する。これらの活動を通して、しっかりとした日本語のコミュニケーション能力を身につける。

使用テキスト：『どんなときにどう使う日本語の表現文型200』初中級、アルク

受講者数：15名

【日本語3－D（日本語総合）】

授業時間数：週1コマ

学習内容：毎回、担当の人が短いスピーチをし、クラスで意見交換をする。また、日常生活・大学生活でよく使われる語彙・表現を学ぶ。新聞記事を利用し、漢字・作文の能力も高めたい。

使用テキスト：初回授業時に紹介する。

受講者数：20名

【日本語4－A（読解・文法）】

授業時間数：週1コマ

学習内容：さまざまな文章を読み、それによって日本事情も考察する。あわせて、文法、語彙、表現、漢字の力をつける。

使用テキスト：『テーマ別 上級で学ぶ日本語』研究社

受講者数：22名

【日本語4－B（聴解・語彙）】

授業時間数：週1コマ

学習内容：テレビドラマ「ラッキーセブン」を鑑賞しながら、日常生活の話し言葉に慣れるとともに、様々なテーマについての知識を深める。また、ドラマにおける語彙を身に付ける。

使用テキスト：プリント教材を配布する

受講者数：26名

【日本語4－C（作文・話し方）】

授業時間数：週1コマ

学習内容：目上の人に宛てた丁寧なEメールや手紙の書き方を学ぶ。スピーチを通して作文を書く。

使用テキスト：『日本語上級話者への道 きちんと伝える技術と表現』スリーエーネットワーク

受講者数：13名

【日本語5－A（日本語総合）】

授業時間数：週1コマ

学習内容：大学の学部レベルの授業のための読解力を身につける。また、自分の考えを聞き手の立場に立って発表できる力を養成し、ディスカッションの場面では適切に意見交換できるスキルを学ぶ。

使用テキスト：新聞、雑誌、インターネット記事など

受講者数：11名

【日本語5－B（日本語総合）】

授業時間数：週1コマ

学習内容：大学の学部レベルの授業のためのレポートを書くためのスキルを学ぶ。

使用テキスト：『大学・大学院 留学生の日本語④論文作成編』アカデミックジャパニーズ研究会

受講者数：7名

	月	火	水	木	金
1・2 8:40－10:10	日本語1－A 日本語初歩	日本語1－A 日本語初歩	日本語1－A 日本語初歩	日本語1－A 日本語初歩	
3・4 10:20－11:50	日本語3－D 日本語総合	日本語3－A 読解・文法	日本語2－A 日本語基礎 日本語5－A 日本語総合	日本語2－A 日本語基礎	日本語2－A 日本語基礎
5・6 12:45－14:15		日本語5－B 日本語総合	日本語3－B 聴解・語彙	日本語3－C 作文・話し方	日本語4－C 作文・話し方
7・8 14:25－15:55	日本語4－B 聴解・語彙		日本語4－A 読解・文法		

平成28年度前期

開講期間は平成28年4月8日(金)から平成28年7月28日(木)までである。入門、初級、中級前半、中級後半、上級の5レベルを設置した。

【日本語1-a (日本語入門)】

授業時間数：週4コマ

学習内容：初級文型の学習と総合的なコミュニケーション練習。

使用テキスト：専門教育出版『にほんご45じかん』、留学生センター開発教材『平仮名』・『片仮名』

受講者数：4名

【日本語2-a (日本語初歩)】

授業時間数：週3コマ

学習内容：文章を読み、文法練習をする。会話、聴解、作文の練習をする。

使用テキスト：『英語版日本語中級J301』スリーエーネットワーク
『大学・大学院留学生の日本語①』アルク

受講者数：7名

【日本語3-a (読解・文法)】

授業時間数：週1コマ

学習内容：さまざまな話題の文章を読む。文法・語彙練習をする。漢字・文法クイズを行う。

使用テキスト：『中級へ行こう 日本語の文型と表現59』スリーエーネットワーク

受講者数：15名

【日本語3-b (聴解・語彙)】

授業時間数：週1コマ

学習内容：週刊ストーリーランドのアニメドラマを鑑賞しながら、日常生活の話し言葉に慣れるとともに、様々なテーマについての知識を深める。また、ドラマを通して生きた語彙に触れると同時に、語彙問題集によって、体系的に語彙力を身に付ける。

使用テキスト：『週刊ストーリーランドアニメ作品』、『語彙力ぐんぐん1日10分』

受講者数：14名

【日本語3-c (作文・話し方)】

授業時間数：週1コマ

授業内容：論理的な文章の書き方を学びながら、各課題に沿った口頭発表や討論を行う。

使用テキスト：『大学・大学院 留学生の日本語②作文編』アカデミックジャパニーズ研究会編著（アルク）

受講者数：9名

【日本語4－a（読解・文法）】

授業時間数：週1コマ

授業内容：日本語の文章を読み、内容について話し合う。文法の練習をする。様々な語彙を使った練習をする。各課終了時に、文法・語彙テストを行う。

使用テキスト：『日本語中級J501編』スリーエーネットワーク

受講者数：26名

【日本語4－b（聴解・語彙）】

授業時間数：週1コマ

授業内容：テレビドラマ「プライド」を鑑賞しながら、日常生活の話し言葉に慣れるとともに、様々なテーマについての知識を深める。また、ドラマにおける語彙を身につける。

使用テキスト：プリント

受講者数：21名

【日本語4－c（作文・話し方）】

授業時間数：週1コマ

授業内容：会話・作文ともに様々な状況を想定し、言葉の使い分けを学ぶ。事実や状況を正確に伝えたり、自分の意見を論理的に伝えたりする練習を行う。

使用テキスト：授業時にプリントを配布する。

受講者数：23名

【日本語5－a（日本語総合）】

授業時間数：週1コマ

授業内容：アカデミックな日本語用法・機能・文章表現についての理解を深める。一般教養的なテーマを取り上げ、大意を捉えて自分の意見や考察をわかりやすくまとめ、口頭で発表する練習を通じて、読解・聴解の技術を養う。

使用テキスト：必要に応じて、プリントを配布する。

受講者数：14名

【日本語5－b（日本語総合）】

授業時間数：週1コマ

授業内容：小説を読み、内容を理解する。使われている生の日本語の語彙や文法を学ぶ。

使用テキスト：プリントを配布する。

受講者数：18名

	月	火	水	木	金
			日本語2-a 日本語基礎	日本語2-a 日本語基礎	日本語2-a 日本語基礎
3・4 10:20-11:50	日本語1-a 日本語初歩	日本語1-a 日本語初歩	日本語1-a 日本語初歩	日本語3-c 作文・話し方	日本語1-a 日本語初歩
	日本語3-b 聴解・語彙	日本語4-c 作文・話し方		日本語5-a 日本語総合	日本語4-a 読解・文法
5・6 12:45-14:15		日本語5-b 日本語総合			日本語3-a 読解・文法
7・8 14:25-15:55	日本語4-b 聴解・語彙				

3. 浜松キャンパス

袴田 麻里

例年、浜松キャンパスでは入門、初級、中級前半の3レベルを設置しているが、28年度前期は中級後半（日本語4）のクラスも開講した。また、浜松キャンパスには、初級集中コースがないことから、毎学期国際交流センター経費で日本語1クラスは7回の補習を行ってきたが、平成27年度より日本語1が週4回に増えたことから、平成28年度からは日本語2の補習を一学期に7回実施することとなった。

平成27年度後期

開講期間は平成27年10月8日から平成28年2月10日までである。

【日本語1-A（日本語入門）】

授業時間数：週3コマ+補習授業7回

授業の目的：「話す」「聞く」技能養成を目指す。仮名の読みは習得する。また、生活漢字を導入したり、生活会話の時間を設けることによって、日本での生活が円滑にできるようにする。

使用テキスト：『にほんご45じかん』

受講者数：33名

【日本語2-A（日本語初級）】

授業時間数：週3コマ

授業の目的：初級後半の学習項目を文法を中心に学ぶ。特に「話す」「聞く」技能を向上させるため、聴解教材や会話練習を多く取り入れた授業を行う。

使用テキスト：『にほんごつぎの45じかん』

受講者数：10名（うち外国人教員2、配偶者2）

【日本語3－A（読解・文法）】

授業時間数：週1コマ

授業の目的：初級項目を強化し、中級項目を定着させる。

使用テキスト：『初級で読めるトピック25』（スリーエーネットワーク）

『中級へいこう』（スリーエーネットワーク）

受講者数：11名

【日本語3－B（聴解・語彙）】

授業時間数：週1コマ

授業の目的：身近な場面に関する日本語聴解、漢字・カタカナ語彙を習得する。

使用テキスト：『みんな日本語 初級II』（スリーエーネットワーク）

受講者数：12名

【日本語3－C（作文・話し方）】

授業時間数：週1コマ

授業の目的：初級、中級の文型や語彙を使って書けるようになる。

使用テキスト：『WEEKLY J 日本語で話す6週間』（凡人社）

受講者数：15名

	月	火	水	木	金
1・2 (8:40-10:10)	日本語1－A	日本語1－A		日本語1－A	日本語1－A
3・4 (10:20-11:50)	日本語2－A	日本語2－A	日本語3－A	日本語2－A	
5・6 (12:45-14:15)	日本語3－B				日本語3－C

平成28年度前期

開講期間は平成28年4月8日から平成28年7月28日までである。ABP修士生の受講希望が多かったが、研究科の科目履修と重なるため、受講しない希望者が複数いた。

【日本語1－a（日本語初歩）】

授業時間数：週4コマ

授業の目的：「話す」「聞く」技能養成を目指す。仮名の読みは習得する。また、生活漢字を導入したり、生活会話の時間を設けることによって、日本での生活が円滑

にできるようにする。

使用テキスト：『にほんご45じかん』

受講者数：9名（うち研究者1名、配偶者3名）

【日本語2－a（日本語基礎）】

授業時間数：週3コマ＋補習7回

授業の目的：初級後半の学習項目を文法を中心に学ぶ。特に「話す」「聞く」技能を向上させるため、聴解教材や会話練習を多く取り入れた授業を行う。

使用テキスト：『にほんごつぎの45じかん』

受講者数：23名（うち研究者1名）

【日本語3－a（読解・文法）】

授業時間数：週1コマ

授業の目的：長めの文章を読み、中級文型・表現を学ぶ。

使用テキスト：『にほんごまるごとA2りかい』（国際交流基金）

受講者数：11名（うち外国人教員2名）

【日本語3－b（聴解・語彙）】

授業時間数：週1コマ

授業の目的：身近な場面に関する日本語聴解、漢字・カタカナ語彙を習得する。

使用テキスト：『J-Bridge to Intermediate Japanese』

受講者数：12名（うち外国人教員2名）

【日本語3－c（作文・話し方）】

授業時間数：週1コマ

授業の目的：書き言葉の特徴を学ぶ、テーマに沿って作文し、作文をもとに発表する。

使用テキスト：自作プリント

受講者数：10名

【日本語4－a（読解・文法）】

授業時間数：週1コマ

授業の目的：長めの文章を読み、中級文型・表現を学ぶ。

使用テキスト：『日本文化を読む』（京都日本語教育センター）

受講者数：6名

【日本語4－b（聴解・語彙）】

授業時間数：週1コマ

授業の目的：身近な場面に関する日本語聴解、漢字・カタカナ語彙を習得する。

使用テキスト：『留学生のためのアカデミック・ジャパニーズ聴解（中級）』（スリーエーネット）

トワーク)

受講者数：7名

	月	火	水	木	金
1・2 (8:40-10:10)	日本語2-a	日本語2-a		日本語2-a	
3・4 (10:20-11:50)	日本語1-a	日本語1-a		日本語1-a	日本語1-a
5・6 (12:45-14:15)	日本語3-c	日本語4-a	日本語3-a	日本語4-b	日本語3-b

2016年静岡大学サマースクール

案野 香子

1. 目的

サマースクール学生に対する日本語・日本事情の授業を行うことにより、受講生の日本語運用力を高めるとともに、静岡大学の学生をはじめとする日本人・各国留学生との交流を図り、相互理解を深める。

2. 実施期間

2016年6月27日(月)～7月13日(水)

(このうち6月27日(月)から7月13日(水)の修了式までは静岡大学が企画・運営を行い、7月14日(木)以降の自由行動は各協定校の責任で企画・運営を行う。)

3. 対象および受入れ人数

韓国・朝鮮大学校 5名

タイ・カセサート大学 1名

4. レベル^{1) 2)}

〈初級〉静岡大学作成日本語力判定テスト50点程度(日本語能力試験N3程度相当)

〈中級〉静岡大学作成日本語力判定テスト80点程度(日本語能力試験N2程度相当)

※日本語力判定試験は100点満点

¹⁾ 上記初級レベルに満たない日本語力、および中級レベルをはるかに超える日本語力をもつ学習者は受け入れない。特に後者の学生には、静岡大学への半年～1年の特別聴講生としての留学を勧める。